

子供の資質、能力を育む カリキュラム・マネジメントの推進を

問 新学習指導要領が示すカリキュラム・マネジメントに対する認識は、
答 教育長／これまでの学校教育は、教科書の内容に沿って指導することが重要視されてきたが、子供たちを取り巻く急激な環境の変化に伴い、子供たちが未来社会で必要となる資質、能力の育成を図ることが求められている。そのため、各学校が目指す教育目標の実現に向けて、教育課程を編成し、それを実施、評価するカリキュラム・マネジメントを各学校で取り入れ、推進していくことは大変重要であると認識している。

問 各学校のカリキュラム・マネジメントの推進に向けた教育委員会の支援は、
答 教育長／本市は義務教育九年間を意識した教育課程の編成や小中学校を一体的にマネジメントする組織づくりを進めており、今後さらに推進するためには、各学校でのカリキュラム・マネジメントの実践が重要と考える。教育委員会では、これまでも管理職等を対象に専門の教育者による研修会を実施しており、今後も経験年数に応じた研修会や指導主事による指導等を通じ、各学校が効果的なカリキュラム・マネジメントを実践できるよう支援していく。

本市におけるマイナンバーカード 交付率向上策は

問 本市におけるマイナンバーカードの交付状況と今後の見通しは、
答 市民福祉部長／令和元年七月一日現在、本市におけるマイナンバーカード交付数は二万六千九枚である。交付率は十三・二％であり、全国平均と同程度で、県平均の十二・四％を上回っている。今後の見通しとしては、令和四年度末までに国民へ交付するという国の目標に向け、健康保険証利用などの附帯機能が追加されることや、公務員による一斉取得が予定されていることから、今後は大きく普及が進むものと見込んでいる。

問 マイナンバーカードの交付率向上に向けた具体策は、
答 市民福祉部長／マイナンバーカードは郵送やパソコンなどから市民みずからが地方公共団体システム機構に直接申請することとなっている。交付率向上に向け、本市では、手続に不安がある市民のために一連の手続を職員が代行するサービスを行うほか、確定申告の際や企業等の要望に応じて職員が出向く出張受付の実施、最寄りの市民窓口事務所での交付予約制での休日交付を行うなど、市民の利便性を高める対応に努めている。

渡部 一二実 形式一 括

先端テクノロジーに対応した 市政運営を

問 情報社会に続く新たな社会の姿を指す Society 5.0 に対する認識は、
答 市長／情報技術の革新等に適切に対応しつつ、市民ニーズを的確に捉えた市政運営は重要であると考える。革新的技術を有効に活用することは、物やサービスの生産性や利便性を高め、社会や暮らしを大きく変化させるものと期待されていることから、Society 5.0 などの新しい時代の流れに即応しながらまちづくりを進めていくことは重要であると認識している。

問 通信速度や容量等の向上が期待される第五世代移動通信システム(5G)に対する認識は、
答 企画部長／5Gは、超高速、多数同時接続等の特徴とする次世代移動通信システムで、令和二年の商用サービスの開始が予定されている。これにより、家電、自動車等のあらゆるものがインターネットによりつながるIoT時代に必要不可欠な基盤として今後の市民生活や社会のあり方を大きく変化させるものと認識している。この特徴を生かし、自治体業務においては、河川や道路の監視、遠隔授業等の幅広い分野において活用の可能性があると考えている。

小澤 隆 形式一 問一 答

市長が持つ中心市街地のまちづくり に対する短期的なビジョンとは

問 さらばーと沼津の開業に伴い、中心市街地の空洞化が懸念されるが、さらばーと沼津の開業後の中心市街地のあり方をどのように考えているのか、
答 市長／多くの集客が見込まれるさらばーと沼津の効果を中心市街地に波及できるように公共交通の充実を図るほか、さらばーと沼津と中心市街地の商店街が一体となった商業振興やにぎわいの創出等に積極的に取り組み、地域経済全体の発展に努めたいと考えている。

問 市長が持つ中心市街地のまちづくりに対する短期的なビジョンとは、
答 市長／沼津駅南口駅前広場において、利用者の利便性向上を目的に、バス事業者別に設置している乗り場を先行方面別に再編するほか、中心市街地において空き店舗を魅力的な空間として再編するリノベーションまちづくりや、道路等の公共空間を人中心の居心地のよい空間に再編する社会実験を行うなどして、市民に対して将来目指すべき姿を可視化していきたいと考えている。



▲バス乗り場の再編を検討している沼津駅南口駅前広場

加藤 明子 形式一 括